

「PLAN-DB®」は、ビジネスモデリングのためのデータ構造を可視化する技法です。椿正明博士（データ総研）および穂鷹良介博士により開発された『TH(Tsubaki-Hotaka)データモデル』の技法（表記ルールおよび作成手順）をマニュアル化しています。

### 業務の可視化で、一番大切なこと

それは、業務で使われている「データの構造」を明らかにすることです。

業務プロセスのインプットもアウトプットもデータです。このINとOUTのデータの関係を明らかにすることで、業務で実施していることが明らかになります。また、データは非常に安定的です。システム再構築時、現状業務で使われているデータ項目の約80%が新規業務で再利用されます。このことから、データは、プロセスと比較し、実に安定的な資産ということが出来ます。

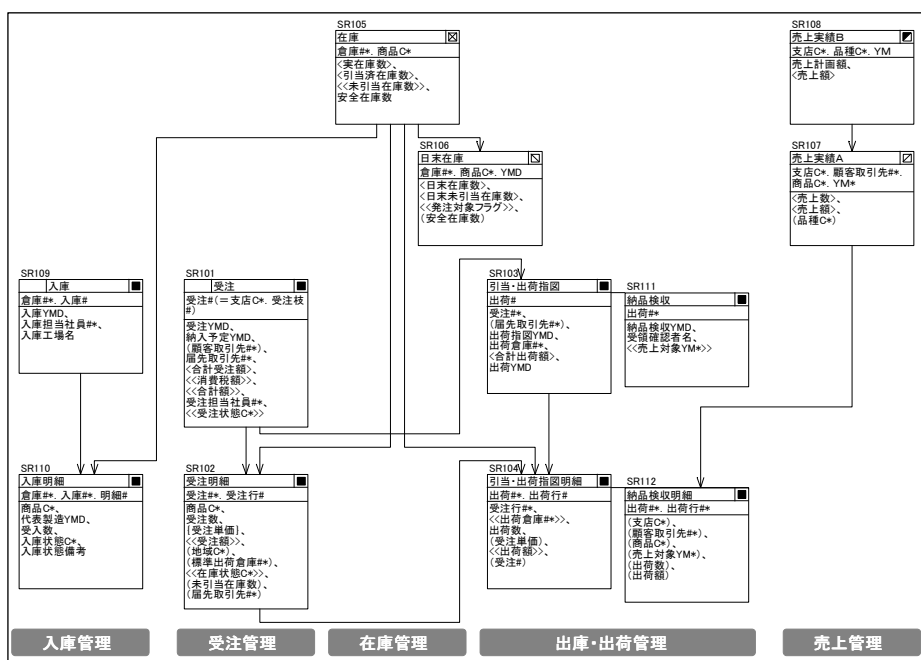
どんな業務であるかその本質を効率的に把握するには、実は、プロセスよりもデータを理解する方が、ずっと近道なのです。

そして、このデータ仕様を共有するための強力なコミュニケーションツールが、データモデルです。

### PLAN-DB®の特徴

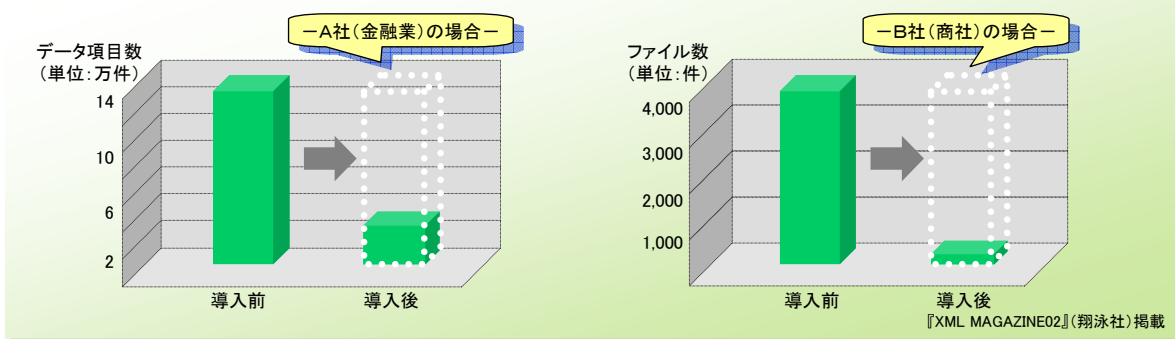
初心者にもやさしい洗練された分析手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験や知識の少ない初心者でもやさしい、ボトムアップ分析技法を用意</li> <li>● 部分分析と全体統合を繰り返すスパイラルな手順</li> <li>● 分析技法は、正規化など特にその理論を意識せずとも、習得が可能</li> </ul>
個人差の出にくいデータモデリングを実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分析手順と成果物を詳細に規定</li> <li>● 個人によるデータモデル品質のバラツキをシャットアウト</li> </ul>
大規模システムのモデル化に対応した標準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PLAN-DBは数々のエンタプライズ規模の巨大モデリングプロジェクトのノウハウから結実</li> <li>● 識別基準・配置ルールなど、大規模システムのモデル化に対応した表記ルールを規定</li> <li>● 大規模モデルであっても、誰もが錯誤なく、理解することが可能</li> </ul>
概念データ中心の分析設計技法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 概念データモデルはビジネスに立脚したデータ構造であり、ITに依存した構造ではない</li> <li>● どのような実装環境になっても、実務の世界と情報システムのインタフェースとして機能するもの</li> <li>● PLAN-DBは、データベース設計のための技法ではない</li> </ul>

### TH(Tsubaki-Hotaka)データモデル記述例





## 導入効果の一例：PLAN-DBによる設計でシステム資産削減



「PLAN-DB」による設計思想のひとつに、「One Fact In One Place」があります。これは、「同じ意味のデータ項目・ファイル、あるいは処理は、情報システムのどこか1個所で管理されるべきである」という原則です。この原則に反した、同じ意味のデータ項目が複数箇所に存在するシステムでは、「二重入力が発生する」「互いの項目値が異なる」などの弊害が発生しやすくなります。つまりデータ項目の重複は、それらを更新、参照する処理の重複を意味し、本来必要のない業務を誘発し、無駄な開発工数やコスト発生の原因となっているのです。このように「PLAN-DB」を設計に適用していただくことにより、システム資産のスリム化に直結し、開発工数やコスト削減を可能にします。

## PLAN-DB教育サービス

「PLAN-DB」の教育プログラムとして、以下を用意しております。ぜひご活用ください。

教育概要	ビジネスモデリングスクール	BMS。データモデルの表記ルール・作成手順を学びます。
	ビジネスアプリケーションスクール	BAS。各業務アプリケーションのデータ構造の基本を学びます。
開催形式	DRIオープンカレッジ	弊社にて定期的に開催する教育プログラム。 現在、「データモデリングの基礎と演習(DC)」「図面言語による業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)」を開催しています。
	DRIオンサイト教育コース	貴社様向けに開催する教育プログラム。ご要望に応じて、日時・場所・人数などフレキシブルに対応します。 以下コースの他にアレンジを加えての実施も可能です。受講人数がまとまれば、スケールメリットにより教育コストの削減も計れます。
ビジネスモデリングスクール	図面言語による業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)	「業務を可視化する」とは何か？要件定義工程における適切なヒアリングとはどうすればできるのか？ 図面言語を通じて、業務に切り込む方法と情報に係る業務改善の着眼点を学びます。
	業務プロセスモデリングの基礎と演習(PR)	業務プロセスモデル(IPFチャート)の位置付け、モデルの構成要素と表記ルールを理解し、作成の手順を習得します。
	データモデリングの基礎と演習(DC)	業務で使用される情報(画面・帳票)を素材として、業務の本質を効率的に把握し表現するデータモデリング技法(PLAN-DB)を学び、グループ演習により体験的に習得します。
	データモデル読解(SD)	要求仕様書であるデータモデルから、仕様を正確に理解できるようになります。
	モデルベース開発入門(FC)	PLAN-DBによるデータモデリングからMicrosoft Access®を用いたデータベース実装をまでを、実習形式で学んでいただけます。 実体験を通して、データモデルの要点が理解できます。
ビジネスアプリケーションスクール	販売・生産計画(PL)、販売物流(SL)、生産管理(MF)、購買・EC(PC)、カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CR)、契約管理(SV)、建築・SI業(CN)、人事(HR)、コード設計管理(GD)、経理(FI)	

お問合せ先:株式会社データ総研 営業担当 TEL:03-5695-1651 / E-Mail:crm@drinet.co.jp

## 株式会社データ総研 代表取締役社長 黒澤 基博

1985年創立。データ設計と標準化に特化したITコンサルティングファーム。データ中心アプローチ(DOA)のパイオニアとして知られる。PLAN-DB®、PLAN-CODE®をはじめとする設計技法や開発方法論をベースに、わが国のリーディングカンパニー約260社を支援。800件を超えるデータ仕様ライブラリを有する。

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11サンコービル TEL:03-5695-1651 FAX:03-5695-1656 <http://www.drinet.co.jp>